

Ⅲ 次の文章〔1〕・〔2〕を読み、空欄〔A〕～〔L〕にもっとも適切な語句・人名・数字などを記入し、かつ(a)～(h)の問いに答えよ。

〔1〕 征韓論争で下野した板垣退助、江藤新平、副島種臣らによって〔A〕年に東京で結成された日本最初の政党といわれる〔B〕は、民撰議院設立の建白書を提出したが、同年2月の土族反乱により、まもなく解党した。

〔B〕の解散後、板垣退助は土佐に帰り、土族中心の代表的な地方政社である〔C〕を結成した。〔C〕には植木枝盛や片岡健吉、林有造らが参加した。翌年、〔C〕を中心に全国の有志によって大阪で愛国社が結成されたが、愛国社第4回大会で〔D〕と改称され、国会開設をめざして運動の規模が拡大した。

こうした自由民権派による国会開設運動の活発化を警戒した政府は、1880年に〔E〕を定めてこれを規制したが、翌1881年民権派は板垣退助を総理として〔F〕を結成した。〔F〕はやがて政府の弾圧や懐柔により解党するが、1880年代の後半に至って三大事件建白運動と呼応した反政府諸派の統一運動である〔G〕運動が盛り上がり全国に拡大した。しかし、その運動を指導した中心人物の一人である〔H〕が黒田清隆内閣に入閣したために、運動は分裂した。

(a) 下線部①にあてはまる土族反乱はどれか。もっとも適切なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

- ㉑ 佐賀の乱      ㉒ 神風連の乱      ㉓ 秋月の乱      ㉔ 萩の乱

(b) 下線部②の植木枝盛は民主的な憲法草案を起草したことで知られている。その憲法草案は何か。もっとも適切なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

- ㉕ 「五日市憲法草案」      ㉖ 「私擬憲法案」  
㉗ 「東洋大日本国国憲按」      ㉘ 「国憲意見」

(c) 下線部③に関連して、三大事件建白運動の方針の一つに、当時の政府の外交姿勢に対する反対が含まれていた。その外交を担当していた外務大臣は誰か。もっとも適切な人物を下から一人選び、記号で答えよ。

- ㉙ 井上馨      ㉚ 青木周蔵      ㉛ 小村寿太郎      ㉜ 幣原喜重郎

〔2〕 I 年の大日本帝国憲法発布時に政権の座にあった黒田清隆内閣は、政党の動向に左右されない政治姿勢<sup>④</sup>を表明したが、第1回衆議院議員総選挙で多数議席を獲得した旧民権派を中心とする民党勢力は、初期議会において「政費節減・J」の方針を掲げ、第1次山県有朋内閣と対立した。これに危機感を強めた後続の第1次松方正義内閣は第2議会を解散し、激しい選挙干渉<sup>⑤</sup>を行って民党勢力の削減をもくろんだが、民党を打ち破ることはできなかった。

こうした政権運営の限界を踏まえ、政党の力を援用することがもはや避けられないことを知った K は、1900年に自ら立憲政友会<sup>⑥</sup>を組織してその総裁に就任し、政党を主体にした政権運営を試みた。この立憲政友会は、のちに大正政変や米騒動を経て、1918年に成立した原敬内閣のもとで大きく勢力基盤を拡大<sup>⑦</sup>した。さらに1924年には L、革新倶楽部と協調して清浦奎吾内閣打倒を掲げたいわゆる護憲三派を形成し、第二次憲政擁護運動を展開した。

そして同年の第15回総選挙で第一党となった L の総裁である加藤高明を首班とする護憲三派内閣<sup>⑧</sup>が形成され、以後しばらく政党政治の時代が続くことになった。

(d) 下線部④の政治姿勢を何というか。漢字4文字で答えよ。

(e) 下線部⑤の選挙干渉を主導したことで知られる内務大臣は誰か。もっとも適切な人物を下から一人選び、記号で答えよ。

㉞ 床次竹二郎

㉟ 後藤新平

㊱ 三島通庸

㊲ 品川弥二郎

(f) 下線部⑥に関連して、立憲政友会の総裁には、K以降も、以後の日本の政党政治史に大きな足跡を残す人物が就任する。その第2代総裁は誰か。もっとも適切な人物を下から一人選び、記号で答えよ。

㉞ 陸奥宗光

㉟ 伊東巳代治

㊱ 西園寺公望

㊲ 桂太郎

(g) 下線部⑦に関連して、原敬内閣が政友会の勢力基盤拡大のために行った政策は何か。もっとも適切なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

㉞ 文官任用令緩和

㉟ 小選挙区制の採用

㊱ 大選挙区制の採用

㊲ 特別高等警察の設置